



ひがし公民館だより

館長 佐田 弘和
主事 平山 茂

第11回文化祭盛り上がりしました！

去る1月31日（金）から2月2日（日）までの3日間にわたり、塩山東公民館の第11回文化祭が開催されました。作品展示は3日間、芸能発表は2月1日（土）に行われ、たくさんの方々の来館をいただき盛会のうちに幕を閉じました。コロナの間は開催が難しく2年ぶりの開催でしたが、100数十人を超える方々が来られ、芸能発表会では会場に入れない方も出るほどでした。普段地道に活動されている利用団体の皆さんや地域の皆さんもたくさんの方々に日ごろの活動の成果を発表することができ、その達成感や満足感は格別だったのではないかと思います。ではその時の様子を振り返ってみましょう。



鈴木市長からのごあいさつです

作品展示

甲州市塩寿会の皆さん

俳句16首

会員8名の皆さんによる選りすぐりの2首ずつが披露されました。日頃書き溜めた俳句の中からメンバー同士で評価をして披露されるそうです。その格調の高さも「なるほど」とうなづけました。

萩原 文子さん

絵画「ざぜん草」

甲州市にはゆかりの深い「ざぜん草」の写生でした。まだ肌寒い野外で（玉宮でしょうかね？）写生されたのでしょうか。絵の具の淡いタッチで描く可憐な紅の花が誠に美しかったです。



清水 純子さん

絵画「富士山」「赤い花」

富士山がベニヤ板に直接描かれており、何とも言えない風合いが醸し出されていました。紙を丸めて色付けした小さな粒を無数に貼りつけ表現した「赤い花」その細かく地道な作業を想像しました。

丸山 由美子さん 菊島 世津子さん 中沢 明美さん

押花額

遠くから見ると写真なのかと思うほど精巧にできた作品でした。野山の花や葉を真空状態にして押し花を作り、それを組み合わせで様々な風景などを表現するのだそうです。その精巧な作りと奥行き感の深さに感嘆を禁じえませんでした。



井下 豊子さん タペストリー「マンスリーキルト」

ひと月が約 30 センチ四方のキルトが 12 か月分縫い合わされた大作でした。さまざまなデザインで 1 年間 12 か月を表現していました。そのひと針ひと針に井下さんの想いや日々の努力が想像されました。

下萩原食生活改善推進員 「食品に含まれるお塩の量」～目で見える塩分表示

日常何気なく摂っている食品に含まれる塩の量が実際に試験管に入っていました。なんとたくさんの塩でしょう。「とりすぎていませんか？」の一言がチクリと心に刺さりました。バランスの良い食事シートは無料配布でした。

塩山南小学校 1 年生の皆さん 「先生あのね」「お話大好き」「いろいろな細に」

3 つのテーマのもと描かれた（製作された）作品がずらりと並びました。天真爛漫、創意工夫、自由自在と様々な言葉がよぎる素晴らしい作品の数々。クレヨンだけではなく絵の具やはさみを駆使して画用紙いっぱい表現していました。

塩山中学校 美術部の皆さん 絵画 14 点

毎日の何気ない日常から深いイメージの世界を先鋭的に表現した作品などがずらりと並びました。その配色やレイアウト、着色技法がキラリと光る作品。さすがは中学生！と感心するとともに中学生の複雑な心の淵を見た気がしました。

塩山中学校 家庭部の皆さん クラフト作品「BEAR ART」 手芸作品「エプロン」

無垢のテディーベアの人形に着色しニスで仕上げた作品。かわいらしいクマが個性あふれた配色でさらにグレードアップされていました。傍らのエプロンにはボタンホール作成の苦労がありありと…。まさに大作でした！

芸能発表

1 童謡の会の皆さん・・・「星の界（ほしのよ）」「もみじ」「冬景色」

20 名の大合唱で芸能発表のトップバッターとして会を一気に盛り上げてくださいました。もはや童謡の域をはるかに超え気品すら感じられました。童謡フェスティバルの準備も万端でした。



2 舞踊吾妻会の皆さん・・・「白虎隊」「諏訪りんどう」「竹」

あでやかな和装に身を包み、時にはしなやかに時には艶めかしく舞い踊る姿に感嘆のため息がもれました。「白虎隊」を踊った二人の小学生の気迫あふれる舞踊に会場は緊張感で静まり返るとともに白虎隊の少年たちの悲劇を重ね合わせ涙を落とす観客もいました。

3 渡邊志織さん・・・「マリーゴールド」「僕が僕であるために」



ギター弾き語りを始めてまだ間もないとの渡邊さんでしたが、その伸びやかな歌声に聞き惚れました。冒頭にこの日にこれらの歌を歌う由縁を話されました。亡き上司との思い出が詰まったこの歌を歌う姿は会場の涙を誘っていました。

4 しおのやまハーモニカクラブの皆さん・・・「早春賦」「瀬戸の花嫁」「あざみの歌」「ふるさと」「君は心の妻だから」

ハーモニカは小さな楽器ですが、大小のハーモニカやパートに分かれた合奏となると相応の迫力が満ちてくることを感じました。一方でその余韻に何とも言えないほっこりした温かい気持ちになったのは私だけではなかったようです。

5 アルパカ33 (サーティスリー) の皆さん・・・「明日があるさ」「糸」「ルージュの伝言」

全員 33 歳という(?)若い人たちのバンドで、会をひとときわ盛り上げてくれました。この文化祭のために結成されたバンドですが、今後も活動을続けて言って欲しです。次回はどんなバンド名で出てくれるのかしら？



6 フラサークルアロハ塩山の皆さん・・・「虹を」「ロゼ・オナオナ」

「虹を」は東日本大震災で大きな被害を受けた福島復興を願った曲でした。現在は復興を遂げているハワイアンズのフラガールを彷彿させるすばらしい舞でした。この極寒期に素足にブラウス一枚にもかかわらず軽やかな足の運びとにこやかな笑顔…。頭が下がりました。



7 火曜会の皆さん・・・「太極拳24式」「太極扇」

ポーズからポーズへのゆっくりとした動きはまじかに見ても腹筋に力が入ってくるようでした。時より響く扇の音がさらにインパクトを与えるしなやかでかつ力感溢れる踊りでした。甲州市歌で踊る太極拳は特筆すべき点でしたね。

8 吉岡寛道さん+1・・・「神田川」「万里の河」「なごり雪」

懐かしい昭和のフォークソングを楽しみました。吉岡さんのパンチの効いた、それでいて甘いリードボーカルに聞き惚れました。時折入る館長のハモリも吉岡さんの歌声に花を添えることができましたかね。

さて、2 番目に発表した「吾妻会」の中で「白虎隊」を舞った小学生の女の子二人ですが、白虎隊員の少年同士がお互いを切り合うという壮絶な場面で、刀が壊れてしまうアクシデントがありました。観ている側にも衝撃的なアクシデントだったにもかかわらず、それに動揺することなく最後まで踊り切った二人の女の子に改めて心から賞賛の拍手を送りたいです。本当に素晴らしいと思います。このお二人は、本番が終わった後に「たくさんの拍手をもらえてうれしかった」「一生懸命練習してきてよかった」と感想を寄せてくださいました。



今回来館者の皆さんから寄せられたアンケートに出品・出演された方々への称賛の言葉に加えて、「小学生中学生の作品がたくさん飾られていてとても良かった」というものが多数ありました。さまざまな年代の方々の様々な活躍がこの場で発揮されるといいなと強く感じました。課題はいくつかありますが、このような「場」が地域にあること、そして分け隔てなく提供されることがとても大切だと感じました。皆さん、ご理解とご協力、そして大きなご声援をいただき本当にありがとうございました。

春よ来い～俳句塩寿会の皆様

思案しつ 三年日記 買ふ米寿 (三枝 茂男)	孫娘 凍て付く朝も 自転車で (中村 操)	でたついで 素手で雪掻き 花見えす (吉田 功子)	雪催い 山車引く衆の 日化粧 (河村 ひさ子)	着ぶくれて 電車乗り継ぎ 息切らし (小沢 一恵)	古水仙 踏まれてもなお 土もちあげ (内田 朗子)	息白し 機敏な乙女 たすき掛け (沢登 昌弘)	その一輪 部屋の気変える 水仙花 (常泉 仁)
---------------------------	--------------------------	------------------------------	----------------------------	------------------------------	------------------------------	----------------------------	----------------------------

お知らせ

○定例清掃が2月23日に行われました。『囲碁の会』『押花サークル』『しおのやまハーモニカクラブ』の皆様、ありがとうございました。

○今年度最後の運営委員会が3月16日に行われます。1年間のまとめをします。運営委員の皆様、利用団体の代表の皆様、よろしくお願いします。